



令和5年 8月20日(日)

12:00 開演 (11:00 開場)

二十五世観世左近記念 観世能楽堂

前売開始: 令和5年 2月1日(水) 午前10時~

料金: 全席指定(税込)

S席 10,000円 A席 9,000円 B席 8,000円

C席 7,500円 学生席 2,500円 (25歳以下、要学生証提示)

・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。
お気軽にご参加ください。

・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

主催: 公益財団法人十四世六平太記念財団

協力: 一般社団法人喜多流職分会

助成:  文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業 (創造団体支援))
独立行政法人日本芸術文化振興会

喜多流 自主公演

令和五年 八月

葵 班 敦

上 女 盛

栗谷 友枝 栗谷 明生
充雄 真也

令和5年度喜多流自主公演について

喜多能楽堂改修工事の為、令和5年度自主公演(令和5年5月~令和6年3月)の会場は **観世能楽堂** となります。

- ◆ 指定席券販売中。
- ◆ 令和5年度は全7回公演になります。
- ◆ 令和5年度 喜多流自主公演年間優待券 (税込)
7枚綴 56,000円 / 5枚綴 40,000円
販売中



◆ 会場 観世能楽堂 観世能楽堂ホームページ ▶▶▶

チケット予約購入のご案内

インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>
(24時間対応、要登録・無料)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL. 03-3491-8813
(午前10:00~午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

② 郵送

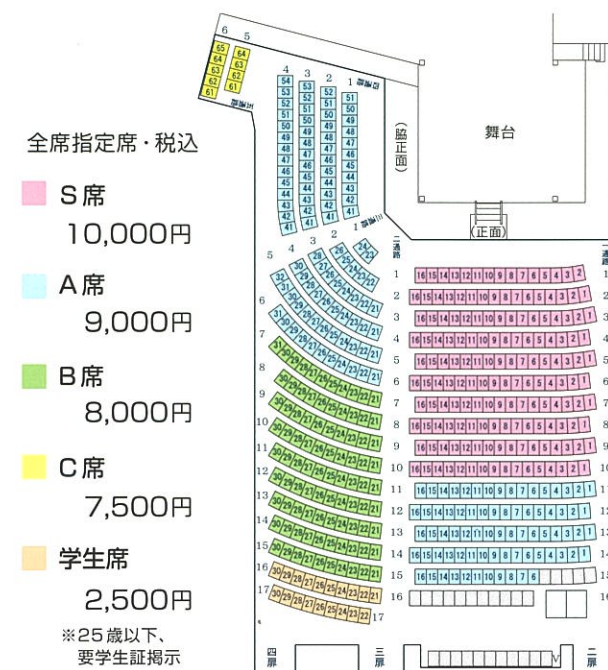
チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

- ※ お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。ご予約の際ご案内いたします。
- ※ ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

ご注意

- ・ロビーが混雑することがありますので、できるだけ開場時間に合わせのご来場をお願いいたします。
- ・開演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・能楽堂内に食堂はございません。GINZA SIXまたは近隣の飲食店をご利用ください。
- ・観世能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

自主公演観客席御案内



会場案内

二十五世観世左近記念 観世能楽堂

〒104-0061 東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX 地下3階
会場に関するお問い合わせ TEL. 03-6274-6579 (観世能楽堂)
観世能楽堂ホームページ <https://kanze.net/>

公演に関するお問い合わせ TEL. 03-3491-8813 (喜多能楽堂事務所)
喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>



- ・銀座駅 東京メトロ銀座線・日比谷線・丸の内線 A2出口、A3出口より徒歩2分
※ 銀座駅とGINZA SIX地下2階をつなぐ連絡通路がございます
- ・東銀座駅 東京メトロ日比谷線・都営浅草線 A1出口より徒歩3分
- ・有楽町駅 JR山手線・京浜東北線・東京メトロ有楽町線 銀座出口より徒歩10分
- ・車でお越しのお客様 GINZA SIX内に併設の駐車場がございます。詳しくはGINZA SIXホームページにてご確認ください。
- ・能楽堂へは、三原通り側・トラベルローソン横のエスカレーター・エレベーターをご利用いただくと便利です。中央通り側入口からは、能楽堂までの直行エレベーター・エスカレーターはございません。
- ・土曜日・日曜日・祝日の中央通りは、歩行者天国となり、平日と異なりますのでお車でご来場の際はご注意ください。

3月13日以降の観世能楽堂における
マスク着用などの感染症対策について
<https://kanze.net/publics/index/465/>



八月自主公演番組

能

シテ連・草刈男 金子龍晟
シテ連・草刈男 佐藤寛泰
後シテ・平敦盛の霊 栗谷明生
前シテ・草刈男

敦盛

ワキ・蓮生法師 宝生欣哉

大鼓 佃 良勝
小鼓 大倉源次郎 篠 杉 信太郎

アイ・須磨の浦人 山本泰太郎

後見 友枝昭世
内田安信

狩野祐一 粟谷浩之
谷 友矩 金子敬一郎
地謡 佐藤 陽 出雲康雅
高林昌司 大島輝久

狂言

鐘の音

シテ・太郎冠者 山本則重

アド・主 山本則秀
アド・仲裁人 若松 隆

休憩(二十分)

能

後シテ・狂女 友枝真也
前シテ・遊君班女

班女

ワキ・吉田少将 大日方 寛
ワキ連・少将の従者 則久英志
ワキ連・少将の従者 小林克都

大鼓 大倉慶乃助 笛 一噌隆之
小鼓 森澤勇司

アイ・野上宿の長 山本則孝

後見 香川靖嗣
谷 大作

金子龍晟 佐々木多門
地謡 佐藤寛泰 狩野了一
塩津圭介 大村 定
狩野祐一 友枝雄人

休憩(十分)

仕舞

三輪

佐々木多門

金子龍晟
地謡 大島輝久
内田成信
谷 友矩

能

シテ連・巫女 高林昌司
シテ・六条御息所の怨霊 栗谷充雄

葵上

ワキ・横川の小型 村瀬 慧
ワキ連・大臣 村瀬 提

大鼓 大倉栄太郎 太鼓 大川典良
小鼓 住駒充彦 笛 藤田貴寛

アイ・大臣内の者 山本凜太郎

後見 塩津哲生
金子敬一郎

谷 友矩 高林 呻二
地謡 塩津圭介 長島 茂
栗谷浩之 中村 邦生
佐藤 陽 内田 成信

附祝言

終了予定時刻 十七時頃

敦盛(あつもり)

熊谷次郎直実は一ノ谷の合戦で、若武者であった平敦盛を手を掛けたことから無常を感じ、出家し蓮生法師と名乗った。蓮生法師は敦盛の菩提を弔うため、須磨の浦へと赴く。

一ノ谷に着くと、笛を吹く草刈男達が通りかかる。その身にそぐわない風流な様子に驚きながらも、樵歌牧笛の故事など笛を話題に言葉交わす。やがて皆が帰ってゆく中その内の一人が残り、蓮生法師に念仏を誦い仏との結縁を願う。そして実は自分は敦盛であることをほのめかして姿を消す。(中入)夜もすがら念仏を唱え申している、敦盛の亡霊が現れ、平家一門の栄枯盛衰を語る。そして一ノ谷の戦い前夜、二月六日の夜に親の経盛が皆を集め、今様や朗詠などして舞い踊った宴を思い起こし舞を舞うと、自らの討死の様子を再現して見せるが、今は敵ではなくなった蓮生法師に回向を頼み消えてゆく。

(約八十五分)

鐘の音(かねのね)

成長した息子の元服に際し、黄金造りの刀を差させようと思った主人が、太郎冠者に鎌倉へ行き「金の値(かねのね)」を聞いて来いと命ずる。太郎冠者はそれを「鐘の音(かねのね)」と勘違いして、鎌倉の寺々をめぐり歩き、鐘楼堂の鐘について音色を聞き比べてくる。帰宅してその旨を主人に報告し、主人に叱責されるが、即興的に鎌倉の寺々を回った様子を語り舞って機嫌をとり結ぶ。

(約三十分)

班女(はんじょ)

野上の宿の遊女、花子は、東国へ下る途中に寄った吉田少将と深い契りを交わして以来、少将と交換した扇を離さず恋こがれるあまり、他の客の前に姿を現さない。そのため、宿の長によって追い出される。(中入)再び野上の宿を訪れた少将はそのことを知ったが、花子の行方が分からないう。花子へ、都へ上らば参上するよう言伝を残し少将は都に帰る。都に着いた少将が賀茂神社に参詣をすると、若い狂女がやって来る。その狂女は、漢の故事から班女と呼ばれ、恋人の扇を胸に抱いて再会を夢みて舞を舞うのであった。その扇を見て少将は花子であると確認し、従者に命じて花子を呼び寄せ、かつて交換した扇を見せると花子の狂気もおさまり、互いに探し求めていた恋人との再会を喜びあうのだった。

班女の名の元となった班婕妤(はんじょうよ)は漢の成帝の寵愛を受けていたが後にその愛顧を失った。夏の間は重宝がられていたが秋には捨てられる扇に喩えて詩を作ったとされ、寵愛を失った女として象徴的である。

(約九十分)

葵上(あおいのうえ)

物の怪に取りつかれた葵上は、祈祷の甲斐もなく病床に臥していた。朱雀院に仕える臣下が葵上の病因を知るために、照日の巫女に梓の弓を弾じさせる、その音にひかれ「破れ車」に乗った六条御息所の怨霊が姿を現わす。そして光源氏の心移りに対する失意を告白すると、枕元に寄り葵上を打ち、破れ車に乗せて連れ去ろうとする。

葵上の容態が急変したので、横川の小型を請じて加持祈祷を行うと、鬼女の様相となった六条御息所が現れる。葵上に害をなそうとする鬼女と小型は激しく争うが、ついに鬼女は経文読誦に心を和らげて成仏するのであった。

(約六十分)

令和五年十二月二十四日(日) 自主公演番組予告

令和五年 十二月二十四日(日) 正午始

●会場 観世能楽堂

●指定席券販売中

鬼界島 大村 定
浮舟 内田 成信
野守 佐藤 寛泰